新学術領域研究「法と人間科学」

平成26年度全体会（合宿）

事前課題

B

　　　　　　　●提出締め切り：　平成27年3月5日（木）

　　　　　　　●提出先：　「法と人間科学」支援室　宛　lahs@let.hokudai.ac.jp

【参加者全員用】

|  |  |
| --- | --- |
| 研究班名：　(班名を記入)　班　　　　　　　　　　　  | 参加者名： |
| 所属：　　　　　大学・　　　　　　　学部　　　 | 職名： |

【 B 】討議に関する課題

1. グループディスカッションに関するアイディア

「法と人間科学のファイナル・イベントを企画する」

今回のグループディスカッションでは、上記のテーマについて討議します。最終年度に、法と人間科学という新学術領域が5年間何をしてきたかを広く発信するイベントを企画してください。このイベントは、成果発信と共に未来に発展させる起爆剤にもなるものとして、以下のようなキーワードを基に考えてください。

　**・インタラクティブ**：発信者と受信者（実務家や対領域研究者、市民）との相互交流

　**・コラボレーション**：他領域、他分野との協力・連携・融合（これらの発展と結束の強化）

　**・ユニーク**：演台を使わない講演、360度プレゼン、花道質疑応答など上記2条件を満たす斬新な仕組

みや構成

当日の討議時間は短いので、事前に多くのアイディアを出し、当日は、お互いのアイディアを発展、融合、集約して洗練させましょう。

【記入欄】

イベントのタイトル、コンテンツ（講演、ポスター発表など）、実現の方法・形式

記入例）

●「法と人間科学グランド・シンポジウム」

・コンテンツ：①TED型の講演、②ポスター発表、③研究成果ブース

・方法・形式：

①演台を使わず、講演者が質疑応答時、自由に参加者間を歩き回り、問いかけながら、講演を進めることで、参加者に一緒に考えてもらい協働して講演を作り上げる。

②院生など若手研究者にできるだけ多く参加してもらい、会場内の研究者、実務家、市民と積極的に意見交換する。

③研究班毎にブースを設け、立体的なポスター発表となるべく、映像有り、出版展示有りのフェスタ的なのりで、成果を一般市民にも分かりやすく公開し、その場で直接社会ニーズに触れる。院生など若手をスタッフにすることで、若手も育成する。

研究班のみならず、研究班が協働して行った研究会、心理鑑定などの成果についてもブースを設け、連携・協働のさらなる強化を促進する。

-----

【記入欄】